

2025年12月12日 佐賀大学（日本原子力学会シニアネットワーク連絡会）

テーマ：原子力発電について

～固有安全性、核燃料サイクル・廃棄物処理処分、核融合開発の現状と展望～

「みゆカフェ」を実施しました

みゆカフェとは、ブレインストーミング型のアクティブラーニング手法である。参加者は、ポスター用紙ごとに設定されたテーマに対し、意見や疑問、連想した考えや言葉などを自由に書き込み、それらに他者が反応することで、対話と思考を連鎖的に深めていく。発言が苦手な参加者であっても「書く」ことで意見を表明でき、考えが可視化されることで、参加者同士の気づきや共感、新たな問いが自然に生まれる点が特徴である。

本手法は、特定の正解や結論、合意形成を目的とせず、多様な視点を尊重しながら自由な思考と対話の循環を重視する点に特徴がある。

今回の実践では、各参加者に模造紙（約39cm×51cm）を配布し、自席のテーブルに貼付した上で、各自が議論したいテーマを中央に記入した。一定時間ごとに全員が同一方向に席を移動し、移動先のテーマについて考察や疑問、意見を書き加える作業を繰り返すことで、全てのテーマに対する多様な意見が集積された。特に、他者の記述に触れることで自身の考えを見直し、思考を更新する場面が多く見られたことは特筆すべき成果と言える。

みゆカフェは、発言量や議論の巧拙に左右されがちな一般的な討論形式とは異なり、全員が必ず思考に参加し、考えの過程そのものを共有できる点に独自性がある。



みゆカフェ実践の様子



通常の
ディスカッションの
風景



椅子に座ってではなく、どちらかというとアクティブラーニングに近い形で楽しく議論できました。少数だからこそできるフリースタイルは自分の好みだったので楽しかったです。全員が一斉に意見を言わなきゃ／書かなきゃいけないというスタイルは一人一人が主体となることを強制されるから、黙る人がなくて良いと思いました。

